

一般社団法人 日本応用地質学会

令和6年度・2024 年度

第6回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録

日 時：2025 年 3 月 17 日(月) 15:00～17:30

場 所：日本応用地質学会 事務局、Zoom を用いた Web 会議(併用)

出席者：長谷川委員長、菊地副委員長、加地委員、崎田委員、野々村委員、プラダン委員、水野委員、安田委員、山崎委員、山田幹事

委任状提出：鎌田委員、濱田委員、百瀬委員、百嶋委員

陪席：長田代表、茶石顧問

議事:

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2025 年 1 月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。
- ・YEG に関する IAEG 事務局からのメール送信先に、YEG 担当を加えてもらうよう事務局へ依頼する。
- ・IAEG 2024 Council Meeting 参加報告について、学会誌掲載へ向けて原稿チェックを進める。
- ・JSEG ポスターについては、ARC15(2025、ネパール)で掲示できるよう調整を進める。

2. 理事会報告

- ・前回理事会(第 11 回)の議事録の内容について説明がなされた。

3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

1) ARC16 関連(2027)

- ・現時点での検討状況について説明がなされた。
- ・Wu 氏からのメール要請(Japan NG からの正式な開催表明文)について、4月中に提出する旨の返信をしておく。
- ・開催場所は 4 月理事会で決定予定のため、2025 Council Meeting でのプレゼンで使用した内容もふまえた文書を準備し、例年 5 月に開催される IAEG Midyear Meeting に合わせて提出する。
- ・科研費の申請について、昨年実施された火山系国際 WS のものを参考にして書類を準備し、今年の夏には提出する。
- ・まずは「参加費×想定参加者数」で全体の予算感を決めた上で、賛助会員からの寄付を募る準備を進める。
(参考:直近の他イベントでは 1 年半で約 300 万円を集めた)

2) ARC15 関連(2025.11.27～29、ネパール、カトマンズ)

- ・海外調査団の募集に向けた検討状況について説明がなされた。
- ・まずは取り急ぎ参加希望者を集める必要があるため、ツアーの団体割引申込み期限(8 月 or 9 月あたり?)を考慮した上で、どのタイミングで会告等の周知を行うかを決める必要がある。
- ・特に ARC16 で中心的メンバーとなりそうな方には、ぜひとも本調査団にもご参加いただくよう依頼する。それと並行して、理事会を通して各会社へも参加を打診する。
- ・International Supporting Partners となることを受けて、JSEG として寄付を行うか(2017 年には 10 万円程度を寄付した)を理事会で確認する。

3) 東アジア地域若手技術者交流会の開催に向けて(2025.10)

- ・現時点での検討状況について説明がなされた。
- ・参加各国の関係者には長田代表から開催案内文を送付し、参加申込の締め切りは6月末に設定する。
- ・本交流会の開催について、IAEG に対してはランジャン副会長から理事会で報告してもらう。
- ・本交流会については、「アジア地域での YEG 活動の活性化」という位置付けとして、各国 YEG メンバーにも共有する方向で進める(まずは中国の YEG メンバーに伝える)。なお、各国 YEG メンバーのオンライン参加を受け入れる場合には、「東アジア地域」をタイトルから外すことも検討する。
- ・JSEG の YEG メンバーとして、国際委員の候補者に今回参加予定の若手4名を加えて、今後も組織的に活動を継続できる形を模索する。

4) IAEG Newsletter 2025 No.1 関連

- ・2025 No.1 への投稿内容について説明がなされた。
- ・2025 No.2 投稿へ向けて、引き続き素材の収集準備を進める。

5) IAEG 若手会員入会無料キャンペーン

- ・キャンペーン募集に向けた検討書の内容について説明がなされた。
- ・IAEG 主催の YEG 関連イベントについては、YEG メンバーに問い合わせしてみる。
- ・今回の若手会員募集を ARC16 での YEG 企画開催につなげることを念頭に置きながら、今後の対応を進めていく。

6) その他の海外イベントへの参加について

- ・2025 年の IAEG Council Meeting (9/8-12、ナミビア): ARC16 の広報活動(プレゼン、パンフ配布など)を行う必要あり。学会会長と NG 代表に参加可能かを相談する。
- ・ARC15 (11/27-29、ネパール)と EGCON2025 (12/1-3、ニューデリー)の参加者をチェックする必要あり。

(2) その他

1) 令和 7 年度総会資料(R6 名簿、R6 事業報告、R7 事業計画)

- ・令和 7 年度の総会資料案について説明がなされた。

2) 令和 7 年度予算案

- ・令和 7 年度の国際委員会関連の活動予算案について説明がなされた。
- ・項目の中にプレゼン用動画作成も加えた上で、ARC 関連活動として 100 万程度を計上しておく。

3) 学会誌 Bulletin 紹介

- ・4 月号に掲載予定の原稿(担当:鎌田委員)を確認した。
- ・この企画の締めとして、委員長の記事を最後に掲載する。その後は、Facebook 等の SNS からの発信をメインに据える方向で検討を進める。

4) 海外シンポジウム

- ・現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、JSEG_HP のトップページ及び学会 NL での周知を手配する。
- ・「Conference of Rock Mechanics and Engineering Geology (Taiwan)」の開催概要について先方へ確認する。

5) 国際会員数

- ・現時点での国際会員の登録状況について説明がなされた。
- ・昨年末に新規入会した国際会員について、35 歳未満の場合は無償キャンペーンの対象となるかを IAEG へ確認する。
- ・国際賛助会員数を増やすためには、会社としての入会時のメリットを改めて明確にしておく必要がある。

4. ホームページ関係

(1) 英語版 HP、日本語版 HP(2025 年 4 月にリニューアル予定)

- ・リニューアル予定の HP について説明がなされた。今後、掲載コンテンツの更新を進めるにあたっては、改めて主担当者の選定が必要である。

(2) 学会 Facebook

- ・今後は SNS からの発信をメインに据える方向で検討を進める。

5. その他

- ・次回委員会(令和 7 年度_第 1 回)は、令和 7 年 5 月の理事会開催前に開催する方向で調整する。

以 上